

平成30年度 三校合同研修会 教職員研修会開催



平成30年(2018)
5月2日(水)

第2号

教育委員会 たより

シャイニング

文責
伊平屋村
教育委員会
金子智彰



『離島の子供の将来を見据えた 島発ち教育に向けて』

今離島の教師がやるべきこと、
求められること

県教育庁 義務教育課 指導班 太田 寛氏

四月十一日(水)に、県教育庁義務教育課指導班の太田寛氏をお招きして、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、伊平屋村教職員研修会(三校合同研修会)が開催されました。

演題は「離島の子供の将来を見据えた島発ち教育に向けて」、副題は「今離島の教師がやるべきこと、求められること」です。島内の幼稚園、小中三校の全教職員と教育委員会職員等の計五十三名が参加しました。この機会に、島発ち教育を推進する意欲やこれからの社会が求める人材などをめざし、「社会で働く力」と「学校での学び」をつなげた考え方を、新しい学習指導要領のとらえ方など丁寧な説明が行われました。

また、「島だからこその教育」への経験を通じた太田主任の強い思いにも触れることができました。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために考え出された「問い」が生まれるサポートガイド」の紹介もありました。その中では、子どもたちが主体性を発揮して授業で学び続ける力を育むために教師の創意工夫や子どもたち



「A1が身近に」A1で病気を早期発見！「Zebra」医師が目で見て判断する。人間の目より正確で、早く、より多くの患者を診断できる。会場、ラテンアメリカ、中国、インド、韓国など。

講師紹介



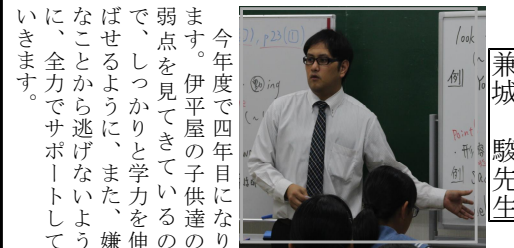
てるしの塾 開講

- 【式次第】 15:30 ~ 17:00
- 1 はじめの言葉
 - 2 講師紹介 教育課長 太田寛氏
 - 3 講演会
 - 4 質疑・応答
 - 5 お礼のことば 長濱先生
 - 6 おわりの言葉

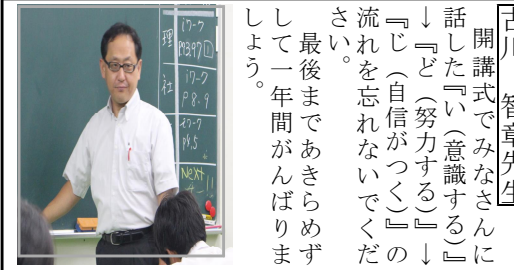
四月十日(火)、伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、平成三十年度「てるしの塾」開講式が実施されました。この日は、島内全中学生を対象にして今年で三年目となり、火・水・木の三日間行われていきます。各自が強い学習意欲と向上心を持ち、将来の地域を担う人材を育成することを目的として、将来の地域を担う人材を育成することを目指しています。

①「確かな基礎学力」の定着
②「粘り強く取り組む力」の育成
③「気づき、悩み、解決する力」の習得

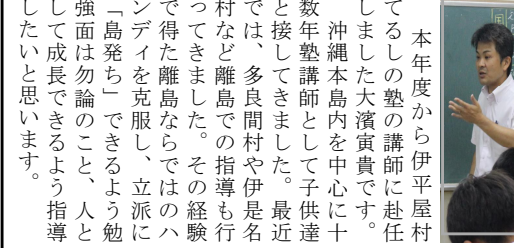
を、今年度は、すでに学校との打合せ等も終わり、これまでに以上を徹底的に鍛えていきます。



兼城 駿先生



古川 智章先生



天濱 寅貴先生

今年度で四年目になります。伊平屋の子供達の弱点を見てきているので、しっかりと学力を伸ばせるように、また、嫌なことから逃げないようになり、全力でサポートしていきます。

開講式でみなさんに話した『(意識する)』『(努力する)』『(自信がつく)』の流れを忘れないでください。最後まであきらめずして一年間がんばりましょう。

本年度から伊平屋村の塾の講師に赴任しました大濱寅貴です。沖縄本島内を中心に十数年塾講師として子供達と接してきました。最近では、多良間村や伊是名村など離島の指導も行ってきました。その経験で得た離島ならではの「島発ち」できるような強面は勿論のこと、人として成長できるような指導したいと思っています。

